

【教職実践研究科（専門職学位課程）ディプロマ・ポリシー】

ディプロマ・ポリシー	身につけるべき力	ミドル	次	次世代
1. グローバルな視野とローカルな視点	日本と世界の教育改革に目を向け、福島教育課題から実践を発想・構想し、地域と学校を結びながら子供の学習を保障する新たな教職への役割を自覚する強い責任感	◎	◎	○
2. 専門的知識・技能	教育や学校の課題改善に取り組むキーパーソンとしての判断力・実行力、自然・社会・文化にわたる教育内容を深く理解し授業を創造する高度な授業力、情報活用能力、データリテラシー	○	◎	◎
3. 論理的思考力・分析力・表現力	多様性や共生を目指す社会で生きるすべての子供の人間的資質や学習の成長に目を向けつつ、教育理論を吸収し、アクティブ・ラーニングを実施し、実践を理論化しようとする能力	○	◎	◎
4. 学際性、俯瞰性、課題発見力	学校種や教科・領域等を融合しながら、学校課題を的確にとらえ、より学校現場で役立つ知識や実践力、物事に柔軟に対応できる能力	○	◎	◎
5. 応用力、実践力、還元力	教職実践研究科（教職大学院）で修得した専門的知識と実践力を学校現場でいかすとともに、ミドル・リーダーとして教育や学校運営に活かす能力、授業をデザインする能力	◎	—	—
6. プレゼンテーション力、コミュニケーション力	自身の実践研究の内容・意義を伝え理解を得るとともに、同僚の主張や子供・保護者のニーズを正しく汲み取る能力	◎	◎	◎
7. コーディネート力、マネジメント力、課題解決力	社会とつながるチーム学校の一員としてのマネジメント経験を積みながら、自らの教育実践を省察する力	◎	—	—

(略) ミドル：ミドル・リーダー、次：次のミドル・リーダー、次世代：次世代のミドル・リーダー

◎強く関連する人材像 ○関連する人材像